

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-114	Year Month Day Time 2010 年 5 月 5 日 13 : 55
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
安城学園	(17 1st 19 9 2nd 24 18 3rd 31 20 4th 35 OT)	延岡学園
64 ●		109 ○

主審:Referee
藤垣 庸二 宮城県
副審:Umpire
佐藤 良明 秋田県
テーブルオフィシャル:Table officials
男鹿工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	/	石井 駿	CAP	2	0	1	0	0	4	/	甲斐 慶彦		0	0	0	0	1
5	×	篠塚 健		15	2	4	1	3	5	×	エリマン プイ	CAP	22	0	8	6	0
6	×	木戸 雄祐		12	0	3	6	4	6	/	大和 倫矩		0	0	0	0	0
7	/	壁谷 僚太		6	0	3	0	0	7	×	黒木 亮		14	0	7	0	3
8	/	橋爪 大貴		0	0	0	0	0	8	/	脇坂 恭輔		0	0	0	0	0
9	×	櫻井 悠斗		7	0	2	3	0	9	/	西口 直哉		2	0	1	0	0
10	/	金澤 優		8	0	2	4	0	10	/	山田 省吾		0	0	0	0	0
11	×	神谷 健斗		6	0	3	0	0	11	×	岩田 大輝		8	2	1	0	4
12	/	百武 遥希		0	0	0	0	0	12	×	寺原 拓史		12	0	6	0	0
13	×	木全 勇人		4	0	2	0	0	13	/	岡本 飛竜		0	0	0	0	0
14	/	藤井 京夢		2	0	1	0	2	14	×	ベンドラメ 礼生		37	7	7	2	2
15	/	原田 京典		0	0	0	0	2	15	/	エルハジ・アッサン ジョ		14	0	7	0	4
16	/	下萩 俊希		2	0	1	0	1	16	/	田中 駿也		0	0	0	0	0
17	/	遠藤 廣紀		0	0	0	0	0	17	/	善家 耕太郎		0	0	0	0	0
18	/	山田 将也		0	0	0	0	0	18	/	平岡 大志		0	0	0	0	1
コーチ		金子 寛治							コーチ		北郷 純一郎						
Aコーチ		前田 浩行							Aコーチ		丸岡 英文						
合 計				64	2	22	14	12	合 計				109	9	37	8	15

※ ×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q出だし、2-1-2ゾーンディフェンスでスタートした安城学園に対し、延岡学園は速いパス回しから#14ベンドラメが3Pを3本立て続けに決め、2-9でリードを奪う。対する安城は#13木全の速攻など、スピードを生かしたオフェンスで対抗する。延岡は追いつかれたあたりでファウルがかさみ、オフェンスでも#5エリマンを生かせず得点が伸びない。さらに安城はディフェンスから#7壁谷が速攻を決め、14-13と逆転に成功。安城が流れをつかんだかに見えたが、その後パスミスなどが多くなり、逆に延岡#7黒木がインサイドで決め、17-19で1Qを終える。

2Qに入ると、延岡は#7黒木、#5エリマンのインサイドや#12寺原のドライブ、#14ベンドラメのジャンプシュートなどでじわじわと差を広げ始める。安城は延岡のディフェンスを崩せず、ミスを連発。#5篠塚がゴール下を決めてからしばらく得点できない。完全に延岡が試合の主導権を握り、速攻など連続で10得点をあげる。延岡はのびのびとした試合運びを見せ、26-43として2Q終了。

3Q、安城は当たりの強いディフェンスで激しい頑張りを見せ、打開を図る。リバウンドも徐々に支配し、前半は両者互角の戦い。しかし延岡はタイムアウト後、ディフェンスを激しくして安城にいいシュートを打たせない。安城のシュートが落ちている間に、延岡は#11岩田、#14ベンドラメの3Pや#15エルハジの速攻・ゴール下などで連続18得点。試合を決定づけた。

4Qに入っても試合の流れは変わらず、安城#5篠塚#6木戸が健闘を見せるものの、結局64-109と大差で延岡学園が勝利した。